平成28年度 校内研究

1 研究主題

自ら考え、表現し、共に学び合う子供の育成

～言語活動の充実を図った算数科の授業づくりを通して～

2 研究教科・領域

算数科（領域は特に限定しない。）

3 主題設定の理由

（1）学習指導要領算数科の目標、内容から

算数科の目標は、「算数的活動を通して数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。」である。

小学校学習指導要領解説算数編第1章総説の中に、算数科改訂の要点が記されている。今回の改訂では、「算数的活動を通して」という文言を目標のはじめに位置づけている。算数的活動とは、児童が目的意識をもって主体的に取り組む算数にかかわりのある活動である。作業的・体験的な活動のみならず、算数に関する課題について考えたり、考えたことを表現したり説明したりする活動も含まれる。また、「見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる」というように、「表現する（能力）」の文言が加えられた。

言語活動の充実が、今回の指導要領の改訂で大きな位置を占めていることから、研究の対象として取り上げるのにふさわしいテーマであると考えた。

（2）算数科の今日的な課題から

算数科では、算数的活動を一層充実させて、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めることを目的としている。基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付ける必要がある。

（3）本校の教育目標から

本校の教育目標は、「五つの気をもって、たくましく生き抜く子供になろう」である。学習面での重点努力事項として、確かな学力を身に付けさせるために、基礎・基本の確実な定着と学力向上の推進が挙げられている。今年度は昨年度までの研究成果を生かし算数科での研究を推進し、学力を強化したい。「自ら考え、表現する」ための基礎・基本の定着を大切に、言語活動を通して思考力・判断力・表現力の向上に努め、学び合いにより学力向上につなげていきたい。